



郷土のあしあと 第2回

唐箕とうみ 長年使用され続けた農具

唐から伝わったことを意味する唐箕は、子実と夾雑物きょうざつぶつを選別する農具である。元禄時代（一六八八―一七〇四）に犁すきや土臼どいうすとともに中国から渡った記録が残っている。

唐箕は「よう扇せん」とも書かれ、また「もみぐるま」などとよばれた。以来三百年の間、形態を変えることなく使用されてきた。唐箕の基本構造は、風をおこす太鼓形の胴の中に四枚の翼をもつ翼車（ファン）があり、胴の中央部の両側には吸気口が開いている。翼車のハンドルを回し風を送りながら、粉こを漏斗ろうとから落とすとき、重い子実は手前の出口より落下し、実の入らない軽い屑粒くずりゅうはつぎの出口より落ち、粉がらや茎葉は外へ飛ばされる。

農家はそれぞれ一台の唐箕を所有するようになり、これを専門の大工が作り、販売した。製作者は唐箕の胴に屋号や作者名を大きく墨書した。

北海道新聞社「北海道の民具」より抜粋



▲郷土資料館に展示してある唐箕

学芸会、立派に発表できました！①



▲ 10 / 20 頓別小学校



▲ 10 / 13 斜内保育所



▲ 10 / 6 豊寒別小学校



▲ 10 / 20 下頓別小学校



▲ 10 / 13 斜内小学校



▲ 10 / 12 浜頓別保育所



▲ 10 / 20 下頓別中学校



▲ 10 / 20 頓別保育所



▲ 10 / 13 浜頓別小学校



このや
的場 洸也ちゃん
平成 14年 1月 7日 生まれ
父～哲也さん
母～陽子さん
住所～浜6

両親から～よく女の子に間違えられる洸也。いっぱい食べて、いっぱい遊んで、男の子らしく育ててね。



じゅんや
佐藤 純也ちゃん
平成 13年 12月 10日 生まれ
父～直人さん
母～なおみさん
住所～日の出

両親から～元気に生まれてきてくれて、ありがとうございます。日々の成長がとても楽しみです。お兄ちゃんたちとずっと仲良しでいてね。



両親から～こんなに大きくなってくれてありがとうございます。いつも、お兄ちゃんとオモチャの取り合いでケンカしているけど、これからはお兄ちゃんと仲良く遊んでね。

父から～素直で元気な子になってほしい。
母から～将来は頼れる男の子に、今は家族のオモチャとなって私たちを楽しませてください。



あらん
大垣 亜藍ちゃん
平成 14年 1月 14日 生まれ
父～満さん
母～絵美さん
住所～浜8



なおや
酒向 直也ちゃん
平成 14年 1月 10日 生まれ
父～隆彦さん
母～久美さん
住所～浜8

浜中
鎌田 思穂美



私の将来の夢は、保母さんになる事です。その夢がかなうかわかりませんが、今から勉強して頑張ります！

浜中
大野 ゆうき



僕の将来の夢は、フロム・ソフトウェアの社員になる事です。社員になってACの製作を手伝うぞ！！



浜中
中川 稔



僕の将来の夢は、スノーボードの大会のTOYOTAビックエアに出る、一位になって有名になりたいです。そして、毎年出たいです。

浜中
吉田 祐輝



僕の将来の夢は、具体的に決まっていらないけど、フィギアデザイナーになりたいと思います。

浜中
盛合 愛



私の将来の夢は保育士になることです。そのためには、今、一生懸命勉強を頑張って、みんなから信頼されるような保育士になりたい。